

# 令和6年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和5年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	SMIプロジェクト推進事業			事業番号	017-066
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	SMIプロジェクト推進担当 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④新たな交通システムの導入		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）		
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
		寄与するKPI	有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
3	事業開始年度	有・無	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	有	取組	「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」、「堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）」、「堺観光戦略」、「堺スマートシティ戦略」、「堺環境戦略」、「堺市移動等円滑化促進方針」、「堺市交通バリアフリー基本構想」		
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	「交通政策基本法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「道路法」、「道路交通法」、「軌道法」、「道路運送法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、民間企業					
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市民及び市外からの来訪者	対象数	—	単位	—	
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	堺都心部における回遊性の向上、堺都心部と美原を結ぶ東西交通問題の改善、脱炭素への寄与などにより、堺都心部の魅力向上と活性化を図る。					
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>【SMIプロジェクト（素案）の概要】</p> <p>取組の方向性：ウォークラブルな都市空間の形成、バリアフリーな都市空間の形成、生活利便性や回遊性を高める情報・サービス連携、公共交通の利用促進と脱炭素化、拠点間ネットワークの構築</p> <p>【スケジュール】</p> <p>&lt;令和3年度&gt; ・SMIプロジェクト（素案）の作成・公表</p> <p>&lt;令和4年度&gt; ・SMIプロジェクトにかかる市民意見募集</p> <p>・SMI都心ライン及びSMI美原ラインの実証実験</p> <p>&lt;令和5年度&gt; ・「SMI都心ライン等推進協議会」及び「SMI都心ライン自動運転技術等検討分科会」の設置・運営</p> <p>・都心回遊性向上実証実験</p> <p>・SMI美原ライン実証実験</p>					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	民間企業（コンサルタント、バス運行事業者等）					
10	公民連携・協働事業	民間企業との連携、ART導入技術検討体制（今後設置予定）					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和4年度	令和5年度	目標	目標 終了(予定)年度
				令和6年度	令和12年度		
				堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）	人/日	目標値	43,800
	実績値	39,337	40,762 (速報値)				
				達成率	90%	—	
	当該指標を選定した理由	都心部への来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、都心部の活性化状況を把握することができるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025において設定しているKPI					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和4年度	令和5年度	目標	
				令和6年度			
				SMIプロジェクトの実現に向けた取組の実施（市民意見募集、実証実験など）	回	目標値	4
	実績値	4	6				
				達成率	100%	120%	
	当該指標を選定した理由	SMIプロジェクト（素案）公表後、市民意見募集や実証実験などを段階的に進めることで、SMIプロジェクトの実現につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	今年度予定している取組の件数（導入計画の作成、実証実験、委託業務など）					

## 令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	SMIプロジェクト推進事業	事業番号	017-066
-------	---------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	16,511	34,799	80,124	49,937	225,809
13 財源内訳	国支出金		0		160,100
	府支出金		0		0
	市債		0		0
	その他 ( )		0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0
	一般財源	16,511	34,799	80,124	49,937
14 人件費 (b)	31,160	31,160	30,780	30,780	37,260
15 年間経費(c)=(a)+(b)	47,671	65,959	110,904	80,717	263,069

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
	R6 予算 466	466		R6 予算 15,500	15,500		
SMI都心ラインにかかる実証実験負担金【新規】	R5 決算 0	0	その他	R5 決算 271	271		
	R6 予算 128,100	0		R6 予算 643	643		
CaaS実証実験負担金【新規】	R5 決算 0	0	導入計画等策定支援業務	R5 決算 27,126	27,126		
	R6 予算 900	900		R6 予算 0	0		
ARTステーションにかかる委託等【新規】	R5 決算 0	0	都心回遊性向上実証実験	R5 決算 440	440		
	R6 予算 62,200	30,200		R6 予算 0	0		
SMI美原ライン実証実験負担金	R5 決算 13,412	13,412		R5 決算			
	R6 予算 18,000	18,000		R6 予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
		① SMIプロジェクトの実現に向けた取組の実施	回
② 上記①にかかる年間経費	千円	65,959	80,717
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	16,489,750	13,452,833
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 令和5年度は、SMI都心ラインの実現に向け、市民や関係団体、交通事業者等からなる「SMI都心ライン等推進協議会」などを設置し、SMI都心ライン等導入計画の作成に着手した。また、SMI都心ラインに関連する取組である次世代モビリティの有用性を検証するため、都心部回遊性向上実証実験を実施した。さらに、SMI美原ライン実証実験について、企画乗車券（デジタルチケット）による利用促進策や運行期間の延長などを行い、SMIプロジェクトの実現に向け着実に取組を進めた。

導入計画の作成に向け、「SMI都心ライン等推進協議会」の下部組織として「SMI都心ライン自動運転技術等検討分科会」を設置したことで、目標値を上回る実績となった。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 基本計画2025に示す施策「人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立」にあたり、堺都心部のSMIプロジェクトを推進するため市民等と協議・調整を行う「SMI都心ライン等推進協議会」の設置や、次世代モビリティを活用した都心回遊性向上実証実験、SMI美原ライン実証実験などを実施した。

都心部回遊性向上実証実験では、堺環濠都市北部地区などの魅力発信にもつながったとのアンケート結果を得た。

また、SMI美原ライン実証実験では、堺駅前や堺東駅前などの都心部での乗降客数の割合が増加する結果となった。

このようなことから、本事業の目的である都心部の活性化に寄与したと考える。